



# 水道道の尻こすり坂

所在地: 西区西戸部町1丁目付近



野毛山と藤棚方面を結ぶこの坂は、勾配が急なため、車をひく人たちがお尻で抑えながら進まなければならなかったことが由来となり、尻こすり坂と呼ばれるようになった。また、明治 20 年に相模川と道志川の合流地点から水を引いた導水管が敷かれたことから、水道道の名を残す。上り下りを繰り返す急坂のてっぺんからは、反対側の坂のてっぺんが見え、独特な景観を形成している。

